

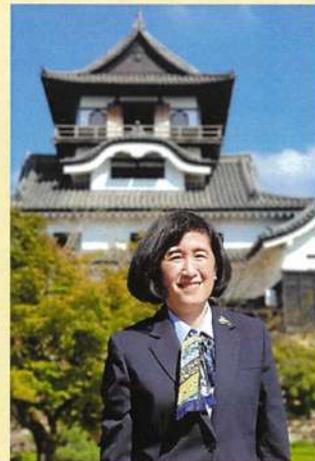
公益財団法人 **犬山城白帝文庫**

歴史文化館だより

2024.3.8

ごあいさつ

公益財団法人
犬山城白帝文庫
理事長
成瀬 淳子



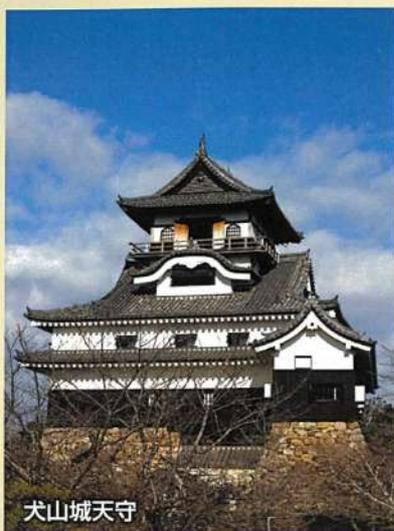
公益財団法人 犬山城白帝文庫は、今年二十周年を迎えることができました。これまでご支援いただきました企業・個人の方をはじめ、皆様の深いご理解・ご協力の賜物と感謝しております。

思えばこの二十年の間には、落雷などの天災や、新型コロナウイルス感染症による犬山城天守の閉鎖を余儀なくされるという激動の時期もありました。しかし、そのたびに皆様から多くの温かい励ましをいただき、現在は平常通り公開することができております。これもひとえに管理団体である犬山市、そして犬山城にご登閣いただいた多くの方々のご支援・ご理解・ご協力によるものと思ひ、重ねてお礼申し上げます。

犬山城は十三年後には、築城五〇〇年を迎えます。それに向けて、当財団も設立当初の気持ちを忘れず、文献・絵画・工芸品など、所蔵品の研究・公開・修理にこれからも尽力してまいります。

どうぞ今後とも、一層のご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

令和六年三月



犬山城天守

入場者数回復へ

犬山城の入場者数の最高は、平成30年度に620,116人を記録しています。その後、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2・3年度は20万人台まで落ち込みました。令和4年度は平常通りの公開により496,176人まで回復し、今年度は1月末の時点で493,234人と昨年度を超えるのは確実です。特に10月・11月は各月のこれまでの最高入場者数を記録しました。

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、人流が回復傾向にあり、昨年まではほとんどいなかった外国人観光客は、入場者数の約1割を占めています。また、NHK大河ドラマ「どうする家康」関連の話題が多かったことも回復要因の一つです。来年度も好調な入場者数を維持できるよう犬山城の魅力を発信していきます。

成瀬正成400回忌

成瀬正成（犬山成瀬家初代）は寛永2年（1625）1月17日に江戸で没して、本年400回忌を迎えました。

正成の遺骸は宝成寺（千葉県船橋市）で荼毘に付され、遺骨は遺言により日光の徳川家康廟のそば近くに葬られました。江戸時代に数度の移転を経て、現在は輪王寺釈迦堂境内に安置されています。

また、初代尾張藩主の徳川義直は正成の死を悼み、菩提寺として名古屋に白林寺を建立しました。正成の墓碑は嫡子の正虎によって建立されましたが、正徳4年（1714）冬の地震により破損して、翌年9月に再建されました。第二次世界大戦後の都市計画の一環で昭和25年に平和公園（名古屋市千種区）へ移転しています。正成の墓碑は、日光・名古屋のほかに臨溪院（犬山市）にも建立されています。



日光の墓所

◆ 白帝文庫友の会入会のご案内 ◆

白帝文庫友の会は、犬山城白帝文庫の活動の支援をするとともに、会員相互の親睦を図り、文化の向上に寄与することを目的としています。会員は随時募集しています。

特典

- ①犬山城・城とまちミュージアムに会員証で何回でも入館できます
- ②特別展の招待券をお送りします
- ③視察研修会や講座など催し物の案内をお送りします
- ④「特別展図録」と「歴史文化館だより」をお送りします

年会費

3,000円

会員期間

お申込み受付後から1年間
(会員証をお送りします)

お問い合わせ

入会案内をご希望の方は下記へご連絡ください
〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券65-5
TEL 0568-65-1707 FAX 0568-62-2055

公益財団法人 犬山城白帝文庫歴史文化館

〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券8(城とまちミュージアム内)
TEL/0568-62-4700 FAX/0568-61-5765
E-mail/info@inuyamajohb.org